

講義名称	小論文作成法	担当教員名	高山 有紀
科目群	人文学 (HUM) ・アカデミックブリッジコース必修		
科目区分等	日本語	単 位	2
対象学年次	2年・春学期	ナンバリング	HUM281

授業のキーワード	論旨の把握、文章の書き方、小論文の作成
授業の概要	課題文を読んで理解すること、時間内に小論文を作成することに慣れていきます。原則として、四大編入を目指している人の履修を歓迎します。
期待される学習成果 (目標)	1、小論文を書く力が身につきます。 2、時事問題についての知識が得られます。 3、志望する学問領域への適性をはかることができます。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	はじめに	授業の進め方について説明します。
2	課題文を読む①	課題文を読み、論旨をまとめる練習をします。
3	課題文を読む②	課題文を読み、論旨をまとめる練習をします。
4	課題文を読む③	課題文を読み、論旨をまとめる練習をします。
5	実践練習	大学入試レベルの小論文の問題に挑戦します。
6	小論文を書く①	小論文の書き方について、基本的事項を学びます。
7	小論文を書く②	小論文の書き方について、基本的事項を学びます。
8	実践練習	大学入試・編入試験の過去問、オリジナルの問題に挑戦します。
9	実践練習	大学入試・編入試験の過去問、オリジナルの問題に挑戦します。
10	実践練習	大学入試・編入試験の過去問、オリジナルの問題に挑戦します。
11	実践練習	大学入試・編入試験の過去問、オリジナルの問題に挑戦します。
12	実践練習	大学入試・編入試験の過去問、オリジナルの問題に挑戦します。
13	実践練習	大学入試・編入試験の過去問、オリジナルの問題に挑戦します。
14	実践練習	大学入試・編入試験の過去問、オリジナルの問題に挑戦します。
15	おわりに	本講での学習を総括します。

定期試験	編入学試験を想定した小論文の試験を行います。
授業時間外学習	第1～5講：要旨を書く練習をします。第6～10講：うまく書けなかった課題に再挑戦します。第11～15講：制限時間内に書けなかった課題を復習します。
評価方法	授業への取り組み・課題の提出状況（50パーセント）、提出された課題の内容（50パーセント）
使用する教科書（必ず購入してください）	教科書は使用せず、プリントを配布します。
参考文献	代々木ゼミナール編『新小論文ノート 2020』（代々木ライブラリー） 近藤千洋編著『ワークで覚える小論文頻出テーマジャンル別キーワード92』（三訂版）桐原書店